

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月 20日 更新

事務事業名		保育所整備助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	坂井 竹志
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	子育て支援課	担当者名	緒方 紀史子
	施策の柱	16	子育てと仕事の両立支援			所属班	保育班	(内線)	1182
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 3	事業連番 11449	根拠法令	保育所等整備交付金		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 ~ 2 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	待機児童解消のための保育所等の創設や老朽改築による保育環境整備などの施設整備に要する費用の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることが出来るような体制整備を行う。
【業務の流れ】	①施設整備計画の確認 ②県事前協議 ③県補助金申請 ④交付決定 ⑤工事着工～竣工 ⑥竣工確認 ⑦実績報告 ⑧補助金請求～支払い
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	待機を余儀なくされている保護者や新たに入所を申し込む保護者からは、保育所整備の要望がある。議会からも早急な待機児童対策が要望されている。合志市認可保育連盟からは、定員増へ出来る限りの協力をすると申し入れがある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	西合志東保育園の建て替えに対する補助を行なった。(定員150名→160名)	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
【基準に達しなかった理由】	資材不足等により年度内竣工できなかったため(翌年度繰越)	待機児童対策の一つとして、保育所等の施設整備に対し、保育所等整備交付金を活用して施設整備費補助を行う。さかえ保育園(第二園創設90人増)、ひかりの丘保育園(増築30人増)が整備予定。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア:施設整備により定員増を行なう保育所等	(単位) 園
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	施設整備を行なう事業者	(単位) 園
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	定員増できるよう施設を整備する	(単位) 園
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 2年度
施設整備により、児童の健全育成ができる。また、保護者は安心して仕事ができる。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	見込	見込
① 活動指標	ア	園	3	1	1	1	2	0		
	イ									
② 対象指標	ア	園	3	1	1	1	2	0		
	イ									
③ 成果指標	ア	園	3	1	1	0	0	0		
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		568,181	179,032	138,780	191,779	191,779	
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	639,202	201,411	138,780	215,751	215,751		
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0		
人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0		
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2		
	延べ業務時間	時間	480	580	500	850	600	600		
(B) 人件費計	千円	0	2,294	1,992	3,350	2,390	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	641,496	203,403	142,130	218,141	215,751			

事務事業名	保育所整備助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 9月から仮園舎での保育を実施中。10月末工事入札を終え、11月から着工。資材、人材不足により、年度内竣工に至らなかった。(4月末竣工予定)
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 施設整備について事前協議を済ませているため、目標は達成するものと見込まれる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 保育所の協力を得ながら最大限の施設整備を行なっている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 施設整備のほかに家庭的保育など空き施設等を利用した保育サービスもあるが、施設整備については国が定めた基準があるため、削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の人員のため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市町村は、児童の保育に欠けるところがある場合においては、保護者からの申込みがあったときは、それらの児童を保育所において保育しなければならない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市町村は、児童の保育に欠けるところがある場合においては、保護者からの申込みがあったときは、それらの児童を保育所において保育しなければならない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

オリンピック関連工事の影響により資材及び人材不足となったために年度内竣工には至らなかった。しかし、園からの丁寧な案内により、保護者や児童は混乱なく5月から新園での保育が実施できた。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(ACTION)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						